

# 7月

## 今月の目標

『保育者や友達と元気に遊ぼう』



## 7月の予定

7日(水) 七夕・7月生まれのお誕生会

園児と保育士で楽しみます。

※ 七夕記念撮影は、クラス毎に随時行います。

16日(金) 納涼祭

園児と保育士で楽しみます。

21日(水) 乳児健康診断(園医:曾我先生来診)

お休みしないで、受診しましょう。

28日(水) 避難訓練(火事・地震・初期消火)

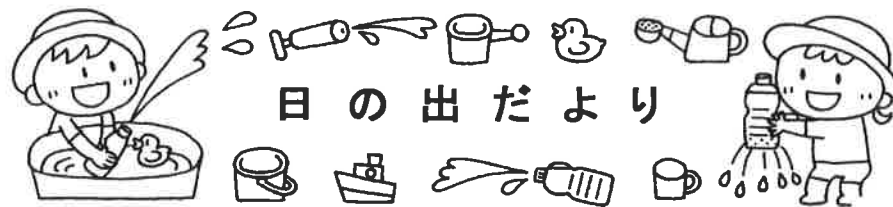
※ 状況に応じて延期等、変更もあります。

### 楽しいプールあそびのために

子どもたちが大好きなプールあそびが始まります! 楽しく安全にあそべるよう、ご家庭で以下のことをお願いいたします。

- ① 毎日お風呂に入り、洗髪する
- ② つめは短く切る
- ③ 耳鼻科で耳掃除をする
- ④ 朝ごはんをしっかり食べる
- ⑤ たっぴり眠る

※水いぼ、とびひなど皮膚の病気や、結膜炎、中耳炎などの目、耳、鼻の病気がかかっていたら、プールが始まる前までに治しておきましょう。



## 日の出だより

令和3年7月1日

日の出保育園

### 『聞き上手になりましょう』

園児達の歓声が楽しくて保育者の声掛けや歌声が梅雨のジメジメを吹き飛ばしてくれるようです。

一方、毎日、大きな声で、カンシャクを起こす子もいます。保育士は、その子の気持ちを代わって言葉にしたり、『どうしたの?』と聞いています。魔法のように笑顔に代わると共にホッとします。

子どもは自分の話を聞いて欲しいものです。給食のメニューを見ながら、我が子の言葉を引き出してくれる保護者の方も多くなり、成果を感じています。

東大に入学した子がいる家庭の9割が『子どもの話を聞く』事を実践しているそうです。『どうして?』『どう思ったの?』等、話を返してコミュニケーションを広げてあげる事、スマホのながら聞きではなく、表情を見せて聞くことが大切です。聞いてもらえる満足感が『やる気』を育てます。



## 水遊びについて



プール遊びのセットのご用意をお願いします。下記のセットは、5~16日の間に持って来て下さい。

【乳児：1・2才児】  
パンツ(布製)、タオル、Tシャツ  
※ 帽子は、カラー帽子を使います



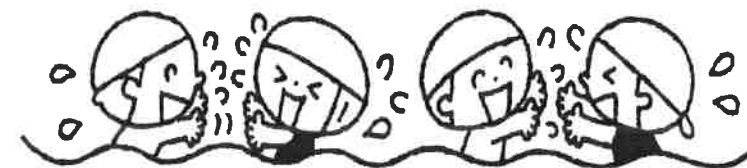
【幼児：3~5才児】  
水着、スイムキャップ、バスタオル、Tシャツ



※ 持ち物全てに記名の上、準備をよろしくお願い致します。



コロナ感染予防の為、密にならないように注意し楽しみたいと思います。



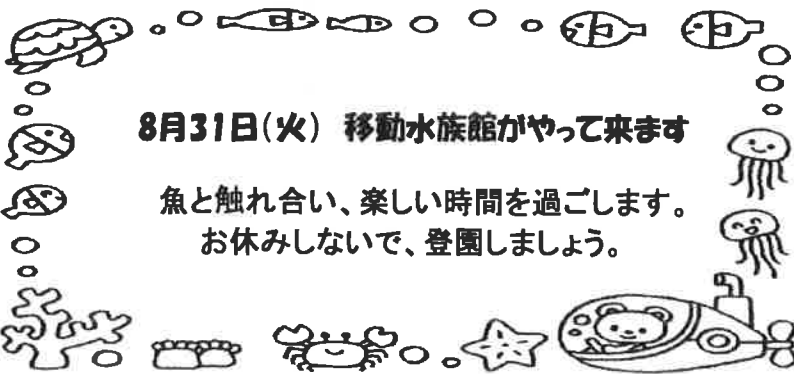
## 7月のうた

- ・水遊び
- ・しゃぼん玉
- ・金魚の昼寝
- ・ありさんの話
- ・たなばたさま
- ・七夕まつり
- ・カニさん
- ・あさがお



## 8月31日(火) 移動水族館がやって来ます

魚と触れ合い、楽しい時間を過ごします。  
お休みしないで、登園しましょう。



## 子どもの水分補給

人間は熱くなり過ぎると、汗をかくことで体を冷やし、体温を一定に保っています。

子どもは活動量が多くて体温が上がりやすく、体に必要な水分量も大人より多いけれど、汗をかく機能は未成熟。こまめに水分を摂取する必要があります。

水遊びの前後も忘れずに、喉が渇く前に必ず水分補給をしましょう。



# 日の出 ほけんだより 7月号

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。  
体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。  
普段からの外遊びで体を鍛え、喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

2021年7月1日  
日の出保育園

## 感染性 胃腸炎



感染性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスが原因の胃腸炎で突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多く見られます。症状が出てから数時間が一番重く、水分を与えても吐いてしまいます。  
吐き気が治まるまで様子を見て、顔色が戻ってきたら経口補水液などを少量ずつ与えましょう。  
嘔吐物や便から感染するケースが多いので、早めの処理と消毒が、集団感染の予防につながります。

## 虫除け対策

子どもは皮膚の抵抗力が弱いので、虫刺されが原因で、とびひなどの皮膚病になってしまうことがあります。網戸に虫除けスプレーをしたり、虫の嫌う香りのローズマリーの鉢を置いたり、虫除けパッチやリストバンドを身に付けさせるなど、ご家庭でも簡単にできる虫除け対策を行いましょ。また、外出時や登園前に虫除け(スプレータイプやウェットティッシュタイプなど)を行うのも効果的です。



## ▽皮膚のケア▽

子どもは新陳代謝が活発で、たくさんの汗をかきます。ぬらしておく肌(ひび)のトラブルにもつながるので、汗を清潔にして快適な毎日を送れるようにしましょう。下記のように濡れたタオルで優しく拭き取ることも効果的です。



汗をかいたら、こまめにシャワーを浴びましょう。

お風呂上がりは、バスタオルでしっかり体を拭きましょう。あせもができている時は、上から優しく押さえて水分を取ります。



乳児には、お風呂上がりの清潔な状態で、保湿クリームをつけましょう。

## 熱中症の対処法



日陰やクーラーの効いたところなど、涼しい場所に移動し、衣類をゆるめてらくにさせます。湿ったタオルなどで体を拭き、うちわであおぎます。首、脇の下、足の付け根に冷やしたタオルや冷却シートなどをあてて、体を冷やします。



少量の水分を数回に分けて与えます。多量の水は嘔吐をするので避け、電解質の入っている経口補水液を与えましょう。